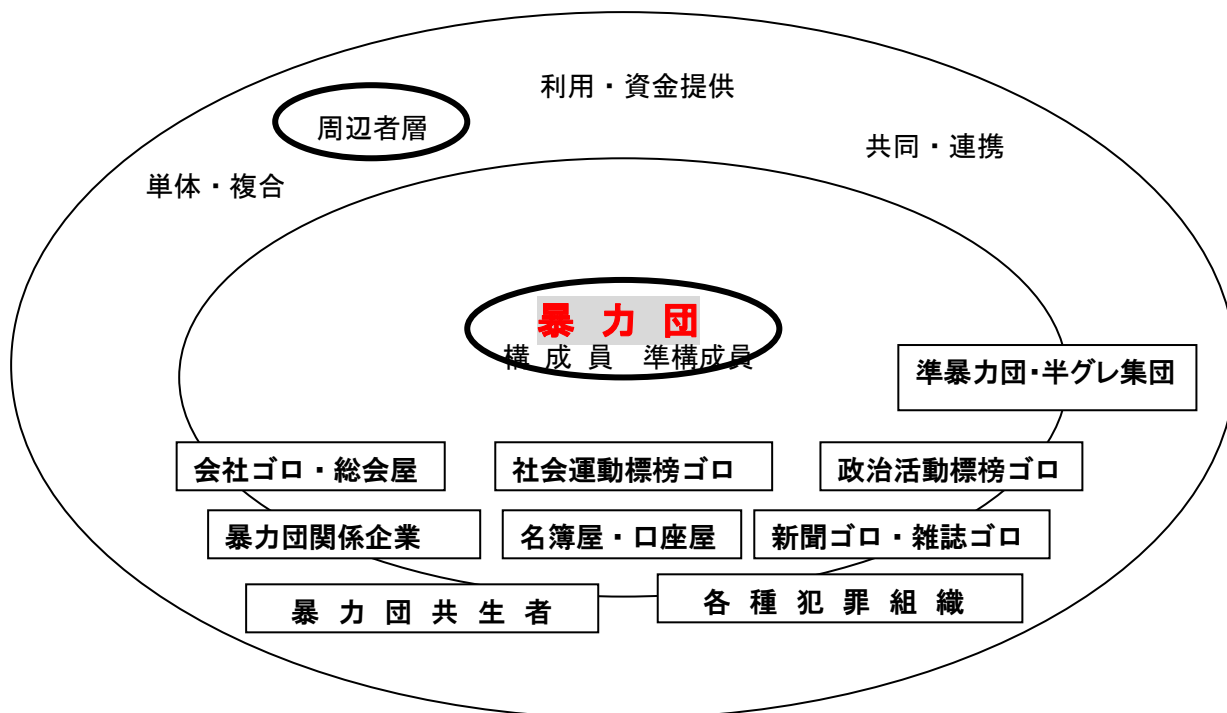


「反社会的勢力」形成の構図

※「暴力団パワー」と「反社会的勢力」＝「組織犯罪インフラ」の形成



注1 「暴力団」(博徒・的屋・不良団等の総称)・・・昭和 30 年代に暴力団の呼称が定着
 的屋、博徒、不良団は、麻薬、ユスリ、ばくち、売春の斡旋等の非合法的活動のほか、社会的役割を
 演じて各地に居場所を確保、そのピークは、1963 年末、総数 18 万 4,200 人を数えた。
 ＊2021 年末、構成員・準構成員総数 2 万 4,100 人)

注2 「反社会的勢力」の形成
 我が国には、長い歴史の中で形成された、**暴力・威力と詐欺的手法を駆使することにより不当に経済的
 利益を追求する集団や個人、即ち「反社会的勢力」が存在する。その類型は、暴力団、暴力団関
 係企業、総会屋、社会運動標榜ゴロ、政治活動標榜ゴロ等々をあげることができる。**

- 注3 「暴力団関係企業」の類型**
- <1> 暴力団等が経営に実質的に関与している類型
 - <2> 暴力団等を利用した類型
 - <3> 暴力団等に資金や便宜を供与した類型
 - <4> 暴力団等と密接交際している類型

注4 「半グレ集団の台頭」と「準暴力団」の指定
 世間一般において「半グレ」と呼称される集団が、IT・ネット時代の到来とともに台頭。建設・飲食・風
 俗・芸能界等に進出を図り、株や仮想通貨取引に関与する等、経済活動への浸透がみられる。
 IT等の新技術を駆使して新たな違法・不当行為を敢行する集団であることにおいて脅威となっており、
 警察庁は、平成 25 年以降、「準暴力団」として実態解明と取締強化対象に指定し、全国警察に対して
 広い視野で情報の収集・分析に努めるべく通達している。